

## 6 がん対策

### 〔現況及び施策の方向〕

第3次「がん対策推進計画」（平成30～35年度）の、がん対策の3つの柱（がんの予防・がん検診、がん医療、がんとの共生）による「がん対策日本一」の実現に向けた総合的な施策を推進する。

### 〔事業の内容〕

#### 1 がんの予防・がん検診

##### (1) 生活習慣の改善, 感染症対策等によるがん予防（1次予防）

受動喫煙防止対策の推進

がん対策推進条例に規定する受動喫煙防止対策が平成28年4月1日から施行されたことに伴い、対象施設における受動喫煙防止対策の徹底を図る。（平成28年度創設）

##### (2) がんの早期発見, がん検診（2次予防）

ア がん検診受診率向上対策事業（予算額 42,172千円）

（ア）【新】職域がん検診推進事業（予算額 18,598千円）

がん検診を実施していない協会けんぽ加入企業の事業主に対して、企業訪問を行い、検診の実施を促進する。（平成30年度創設）

（イ）市町がん検診個別受診勧奨支援事業（予算額 11,274千円）

5がん綴り受診券を活用した勧奨や職域の被扶養者への勧奨支援など、実際の受診行動につながる取組を推進する。（平成23年度創設）

（ウ）【新】「がん検診一斉受診月間」の実施（予算額 12,300千円）

短期間に限定した休日検診やレディース検診の実施など、職域の女性が受診しやすい環境を整備し、短期集中型の受診強化事業を実施する。（平成30年度創設）

イ 【新】S I B※の手法を用いた新たながん検診個別受診勧奨（予算額 0千円（債務 21,492千円））

市町の国保加入者を対象に、S I Bの手法を用いた大腸がんの受診率向上について、モデル事業を実施する。（平成30年度創設）

※S I B：ソーシャルインパクトボンド。通常の委託事業とは異なり、成果（受診率の向上）に連動した支払を行う手法。

ウ 【新】精密検査受診率向上対策事業（予算額 2,816千円）

受診勧奨資材の作成や各市町の実情に応じた精密検査結果の報告を受ける仕組みの構築支援など、効果的な受診指導手法の導入を支援する。（平成30年度創設）

エ がん検診精度管理推進事業（予算額 5,246千円）

市町が実施するがん検診の精度向上のため、専門家による評価・助言、研修等を実施するほか、平成28年度から導入された内視鏡による胃がん検診に対応するため研修等を実施する。（平成23年度創設）

#### 2 がん医療

医療提供体制の充実強化

##### (1) 広島がん高精度放射線治療センター管理運営費（予算額 28,373千円）

平成27年10月に運営を開始した、広島がん高精度放射線治療センターについて、指定管理者による管理運営を実施する。（平成22年度創設）

(2) がん医療連携強化事業（予算額 103,721 千円）

ア がん診療連携拠点病院機能強化事業（予算額 100,000 千円）

がんの専門的医療の実施，地域のかかりつけ医等に対する研修，がん医療に関する情報提供などを行うがん診療連携拠点病院の機能強化を図るため，相談支援，研修に要する経費等について支援する。

（平成 18 年度創設）

第 1 表 がん診療連携拠点病院機能強化事業の補助状況

（単位 か所，千円）

年 度	施 設 数	補助額（予算額）
平成 30 年度	13	100,000
平成 29 年度	13	100,000
平成 28 年度	13	100,000
平成 27 年度	13	100,000

〔負担割合：国 1/2，県 1/2〕

第 2 表 がん診療連携拠点病院の指定状況

（平成 30 年 4 月 1 日現在）

指定区分	圏域名	病 院 名	指定年月日	
国指定	県がん診療連携拠点病院	広島大学病院	平成 18 年 8 月 24 日	
		県立広島病院		
		広島市立広島市民病院		
		広島赤十字・原爆病院		
	地域がん診療連携拠点病院	広島西 呉	厚生連広島総合病院	平成 18 年 8 月 24 日
			呉医療センター	
		広島中央 尾三	東広島医療センター	
			厚生連尾道総合病院	
		福山・府中 備北	福山市民病院	
			市立三次中央病院	
県指定	呉	中国労災病院	平成 24 年 3 月 1 日	
		呉共済病院	平成 22 年 11 月 16 日	
	尾三	尾道市立市民病院		
		福山医療センター		
	福山・府中	中国中央病院		

イ がん医療ネットワーク機能強化事業（予算額 3,721 千円）

県民に最適ながん医療を提供するため，がん診療連携拠点病院を中心とした医療ネットワークの普及及び機能強化を図る。（平成 23 年度創設）

### 3 がんとの共生

(1) 緩和ケア推進事業（予算額 14,214 千円）

がんと診断された時からの緩和ケア，住み慣れた地域における緩和ケアを受けることができる体制づくりを支援する。（平成 16 年度創設）

(2) がん患者・家族相談支援事業（予算額 4,223 千円）

がん患者等と同じ立場で相談支援を行う人材としてがん経験者等ががんピアサポーターとして養成し，がん診療連携拠点病院等と連携した相談支援を実施していくとともに，「広島がんネット」や地域の療養情報サポートブックにより，がんに関する様々な情報を提供する。（平成 20 年度創設）

平成 30 年度からは，企業及び医療機関における就労支援体制の構築に向けた検討や，がん患者の妊孕性（妊娠できる能力）温存治療の治療費助成や普及啓発を新たな取組として行う。

(3) Teamがん対策ひろしま推進事業（予算額 4,943 千円）

がん予防，検診，患者団体支援，就労支援に取り組む「Teamがん対策ひろしま」登録企業の拡大を図るとともに，その取組を支援し，地域全体でのがん対策を推進する。（平成 25 年度創設）